令和５年度　第２回　事業評価監視委員会　審議案件一覧（道路事業：再評価）

資料１

資料番号	審議区分	県名	事業名	前回評価年度 【 】で前々回評価年度を記載している事業は、前々回の費用便益分析結果を用いた事業 （ ）は今回再評価理由	車線数	事業延長の変化 （ ）内は開通済み延長（R5予定含む）		全体事業費の変化		事業期間の変化 費用便益比算定上設定した事業期間		計画交通量の変化 上段は一体評価で算出した値、下段（ ）書きは個別事業毎に算出した値		費用便益比の変化 上段は一体評価で算出した値、下段（ ）書きは個別事業毎に算出した値				R5年度以降開通予定 （R5.10時点）	対応方針（原案）	県知事意見
														全体		残事業				
						前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差	前回	今回 【 】は前回との差			
1 （資料3-1）	重点	福島	会津縦貫南道路 （４工区～５工区） 一般国道121号 湯野上バイパス	R3 （社会情勢の変化＜全体事業費及び事業期間の変更＞）	2/2	約8.3km （0km）	約8.3km （0km）	365億円	457億円 【＋92億（25%）】 ○転石処理の追加 ○土砂運搬経路の変更 ○軟弱地盤対策の見直し ○物価上昇による増	14年 H24～R7	16年 【＋2年】 H24～R9 事業工程の精査 ※開通見通しは非公表	－ （8,400台/日） ■推計：H22OD	8,300台/日 （9,900台/日） 【+1,500台/日】 最新ODへの見直し等 ■推計：H27OD	－ （0.9）	0.6 （0.7） － 【-0.2】 事業費増、事業期間延長によるB/Cの減	－ （1.6）	2.0 （1.6） －		事業継続	事業継続
2 （資料4-1）	要点	岩手	一般国道４６号 盛岡西バイパス	R2 （社会情勢の変化＜全体事業費及び事業期間の変更＞）	4/4 4/6	約7.8km （7.8km） 2/4暫定3.6km 4/4完成1.1km 4/6暫定3.1km	約7.8km （7.8km） 2/4暫定3.6km 4/4完成1.1km 4/6暫定3.1km	453億円	468億円 【＋15億円（3%）】 ○仮設工法の見直し ○物価上昇による増	42年 S59～R7	47年 【＋5年】 S59～R12 ○投資パターン見直しによる事業工程精査	30,900台/日 ■推計：H22OD	32,500台/日 【+1,600台/日】 最新ODへの見直し等 ■推計：H27OD	1.3	1.4 【＋0.1】 計画交通量の見直し	3.2	4.2 【＋1.0】 計画交通量の見直し、残事業費減によるB/Cの増	■令和７年度：盛岡市本宮字泉屋敷～盛岡市上厨川字前潟：完成４車線開通予定	事業継続	事業継続
3 （資料4-2）	要点	山形 新潟	一般国道113号 小国道路	R元 （前回再評価から5年）	2/2	約12.7km （0km）	約12.7km （0km）	350億円	350億円 ○設計未了のため、次回以降の再評価で事業費を精査。	10年 R元～R10	10年 R元～R10	5,300台/日 ■推計：H22OD	4,800台/日 【－500台/日】 最新ODへの見直し等 ■推計：H27OD	1.1	1.05 【－0.05】 計画交通量の見直し	－	1.2		事業継続	事業継続

※計画交通量・費用便益比の上段は一体評価で算出した値、下段（）書きは個別事業毎に算出した値